

2025 年度 九州若手数学者発表賞 6 名

## 第 11 回九州若手数学者発表賞受賞者と受賞題目・受賞理由

1. NWEBONYI Ugochukwu James・九州大学 D1

業績の題目 Distributed Controllers for nonautonomous Multi-Agent Systems  
with extension to switching topologies

受賞理由：ジェームズ氏は、非自律マルチエージェントシステムにおける分散制御器の設計に関する研究を行い、その成果を多くの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

2. 砂永和海・大分大学 M2

業績の題目 指数型不定方程式  $y^2 = k^a + 2^b + 1$  及び類似問題に関する研究

受賞理由：砂永氏は、特定の指数型不定方程式が解の有無及び解をもつ場合の解の組に関する研究を行い、その成果を多くの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

3. 寺田怜央・九州大学 M1

業績の題目 Apostol Möbius関数の部分和の評価

受賞理由：寺田氏は、

Apostolが導入した位数 $k$ のMöbius関数やPillaiのGCD和関数の $k$ 乗などの数論的関数の部分和の漸近評価について研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

4. 上村 大志・熊本大学 M2

業績の題目 Existence and stability of periodic solutions for the Hodgkin-Huxley equation under time-periodic external force

受賞理由： 上村氏は、周期的外部刺激を伴う Hodgkin-Huxley 方程式の周期解の存在およびその安定性に関する研究を行い、その成果を国内外の研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

5. 西 康汰・九州大学 D1

業績の題目 真正粘菌の学習メカニズムの数理モデリング

受賞理由： 西氏は、真正粘菌に見られる学習行動の一種である馴化（じゅんか）のメカニズムを、常微分方程式を用いた数理モデリングにより解析研究を行い、その成果を九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

6. 穆佐 飛来・九州大学 M2

業績の題目 一般線形モデルにおける一般リッジ推定量とベイズ線形推定量の研究

受賞理由： 穆佐氏は、回帰係数ベクトルの推定量として表される一般リッジ推定量やベイズ線形推定量の統計的性質や最適性の研究を行い、その成果を九州支部例会などの研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。